**平成30年度**

＜ＪＡバンク中央アカデミー＞

全国研修のご案内

**「県域年金推進担当者研修」**

　　～ 年金推進にかかるＪＡ指導や相談対応力向上へのスキルを学ぶ講座

* **県域での年金推進にかかるＪＡ職員指導や年金相談に必要なスキル等を向上させたい方。**
* **信連等でＪＡバンク県域年金センター機能を担う職員の方のご受講をお奨めします。**

○ 日程：（３日間）

（第１回）平成30年 7月25日（水） 8:50 ～ 27日（金）15:40

（第２回）平成30年11月20日（火） 8:50 ～ 22日（木）15:40

○ 場所（第１回・第２回とも同じ）

農林中金アカデミー研修室（宿泊は近隣ホテル等）

　　　　　（住所）東京都千代田区有楽町１－１２－１

　　　　　　　　　　　　　　　　　新有楽町ビル６Ｆ



* 研修のねらい（こんな時）

すでに基本的な年金の知識を習得済みで、各県域でＪＡバンク県域年金センター機能を担われている職員の皆さんを対象に、グループワークやロールプレイング等を多く盛り込み、加えて２回の研修の合間に地元での年金推進指導実践（研修と同行訪問の実施）により、年金推進にかかるＪＡの人材育成指導や相談対応に必要な実践的なスキルを身に付けていただくことをねらいとしています。

* 想定する受講対象者

信連等の推進部署でＪＡの年金推進指導（ＪＡ地区担当を含む）を担当する職員

　※「年金基礎」（旧「年金実務」）を受講済もしくは同レベルの年金にかかる基礎知識

を有するとともに、研修の間での「課題」とする地元ＪＡでの実践活動を行うこと

ができる方。

* 考え方（研修の骨格）

これまで身に付けられている年金の基礎知識を前提に、①第１回目の集合研修では、地元ＪＡの年金推進にかかる課題分析や推進のためのスキル等につきグループワークを中心に学びます。②研修終了後には、第１回目の学習内容をもとに、地元ＪＡでのミニ研修会の開催とそれを踏まえた同行推進活動の実践を行っていただきます。

③第２回目では、地元での実践活動により浮かび上がった課題の確認と対応策を検討していただいた後、今後の指導に向けた推進手順の確認や広報活動、推進施策等を

　 確認し、全体として年金推進指導に必要なノウハウを身に付けていただきます。

* 関係者の声

（笹沼講師から）

　県域で年金推進指導にあたる担当者がほしいのは「事例」と「情報」です。

　この研修はひとりでは学ぶことができない年金推進手法について、各県域の推進状況を確認しあい、グループワークや事後課題をもとに身につけ、ＪＡに還元していくことを目的としています。

　県域での特性は様々ですが、年金推進は安定した収益を確保するためにも信用事業において最重要項目となります。

　自立して行動できるＪＡ職員育成の手助けをするため、年金推進に特化したこの研修をぜひ活かしてください。

（昨年度アンケートから）

〇 自県域の取り組みの遅れや課題を強く意識できる機会となった。

* 初任の私にとってはちょうど良いレ

ベルの研修であり、大変有意義な研修となった。帰って実践できそうなものもあったので取り組み、獲得につなげていきたい。

* 他県域で抱えている課題等が共有で

きたり、他県域で行っている施策等がわかり、すごく参考になりました。皆さんのモチベーションも高く、まだまだ私に足りないと実感させられることもあり、刺激されました。

* 研修講師紹介

笹沼　和子 （ささぬま　かずこ）

＜略歴＞　栃木県信農連勤務を経て，平成13年に笹沼和子社会保険労務士事務所を開設。㈱服部年金企画所属講師を経て，平成23年4月に独立。

　　　　　現在は，当社全国研修として本研修や「年金基礎研修」に加え，多数の県域で県域研修講師として活躍中。

* 研修プログラム（予定）　※時間調整等により、内容を変更する場合があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ＜第１回＞ | ＜第２回＞ |
|  | セッション名 | セッション名 |
| 【１日目】 | 【１日目】 |
| 91213　19 | （8:50集合） | （8:50集合） |
| ＜開講＞〇金融機関と年金　　　　　　　　　　〔講義〕〇信用事業体制の現状認識　〔個人発表・講義〕・自県の年金推進体制等の確認 | 〇第１回目の課題の確認〔Ｇ・全体討議、講義〕・モデルＪＡでの実践振返り・同行訪問を通じ見えてきたこと　等〇同行訪問とＦＳＴとの違い　　　　　〔講義〕 |
| 〇年金数値の取り方　　　　　〔Ｇ討議、講義〕・自県の年金実績を分析・競合金融機関の情報把握状況・実績管理の状況と分析　等・平成30年度は女性の厚生年金が空白の１年に（17:30終了） | 〇年金推進の手順確認　　　　〔Ｇ討議、講義〕（ミニロープレで確認）〇効果的な年金推進の広報活動・現状のチラシ、友の会活動等の確認（17:30終了） |
| （経験交流） | （外部懇親会場） |  |
| 【２日目】 | 【２日目】 |
| 9121318 | 〇年金推進体制の現状確認　　〔Ｇ討議、講義〕・年金相談会の開催状況（回数、来店者）・利用中の推進マニュアルの確認・実績検討会の開催状況　等 | 〇現場における年金推進　　　〔Ｇ討議、講義〕・年金相談会、電話相談・年金ＦＳＴ、同行訪問　等〇電話戦術の振返り　　　　〔Ｇ討議、討議〕 |
| 〇年金相談会の現状と課題　　〔Ｇ討議、講義〕・集客状況、社労士との提携状況〇指定替推進の実施方法　　　〔Ｇ討議、講義〕・振返り、応酬話法　ＤＭと電話戦術の活用等　（ミニロープレで確認）（17:30終了） | 〇総合事業と年金推進　　　　〔Ｇ討議、講義〕・各事業との連携策等の検討（17:30終了） |
| － | － |
| 【３日目】 | 【３日目】 |
| 912 | 〇年金研修講師対応時の留意点　　　　〔講義〕〇年金訪問活動の留意点　　　〔Ｇ討議、講義〕・次回までの課題　（アクションプログラム作成等）○不在票の活用法　　　　　　〔Ｇ討議、講義〕 | 〇未支給年金から始まる遺族年金対策　　　　　　　　　　　　　　〔Ｇ討議、講義〕・遺族年金指定からの家計メイン化・遺族年金へのアプローチ手順確認　等 |
| 1316 | 〇仮想モデルＪＡの年金推進体制再構築〔Ｇ討議、講義〕〇まとめ（質疑、１分スピーチ） | 〇30年度以降の推進に関係する改正　　〔講義〕・共済年金の推進方法を考える〇まとめ（１分スピーチ～今後どう活かす） |
| （～15:40解散） | （アンケート記入） | （～15:40解散） | （アンケート記入） |
| 事後課題 | ・モデルＪＡの選定・ミニ研修会の実施・年金同行訪問 |  |

（注）第１回目の１日目の研修終了後「経験交流会」を開催いたします。

* 募集人員

　　　定員　２４名

* 応募人数が定員を上回った場合は，受講をお断りする場合がありますので，予めご承知おきください。（受講をお断りする場合は，開講の1カ月前までにご連絡します。）
* 正式なご案内は，研修開講日の1カ月前頃の送付となりますので，1カ月前までに連絡がない場合はお申込みいただいた内容で受講準備をお進めください。
* 日程

（第１回）（３日間）

◇開講　　　平成３０年　７月２５日（水）　　　９時００分

◇閉講　　　平成３０年　７月２７日（金）　　１５時３０分（１５時４０分解散）

＜ 集合日時　平成３０年　７月２５日（水）　　　８時５０分 ＞

（第２回）（３日間）

◇開講　　　平成３０年１１月２０日（火）　　　９時００分

◇閉講　　　平成３０年１１月２２日（木）　　１５時３０分（１５時４０分解散）

＜ 集合日時　平成３０年１１月２０日（火）　　　８時５０分 ＞

* 研修会場・宿泊場所

（第１回・第２回とも同じ）

（１）研修会場　　　農林中金アカデミー研修室

（住所）東京都千代田区有楽町１－１２－１

　　　　　　　　　　　　新有楽町ビル６Ｆ

（電話）０３－３２１７－３０６０

（２）宿泊場所　　　近隣ホテル等

○ 参加費用（予定）（消費税込）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 第１回 | 第２回 | 合　計　 |
| 受講料 | ８４，０００円(教材費を含みます) | － | ８４，０００円 |
| 宿泊代 | － | － | － |
| 食事代 | ８，１００円 | ４，８６０円 | １２，９６０円 |
| 合計 | ９２，１００円 | ４，８６０円 | ９６，９６０円 |

* 申込みの方法

６月１５日（金）までに以下の方法でお申込みください。

|  |  |
| --- | --- |
| お申込み | 申込方法 |
| 信農連・１ＪＡ県ＪＡ | 「研修申込・履歴管理システム」によりお申込みください。 |
| 農林中金本支店・営業所 | N-Styleより農林中金系統人材開発部へお申込みください。 |

以上

【本件にかかる照会先】

株式会社　農林中金アカデミー　全国研修部　石郷岡・久野・伊藤

　（電話　０３－３２１７－３０６０，３０６２）

平成　　年　　月　　日